

# 栄ひがし通信

学校法人佐藤栄学園  
栄東中学・高等学校  
第 2 号  
令和2年 6月 1日

## 「生徒のみなさんに感謝」 「保護者の皆様に感謝」

新型コロナウイルスの感染拡大状況も徐々に緩和の兆しを見せ、第二波の危惧は残るものの、5月25日ようやく首都圏と北海道の緊急事態宣言が解除されました。そのような状況のもと、本校では4月から5教科で、また5月から全教科でオンライン授業を開始しました。当初は様々な不安材料を抱えながら試行錯誤を重ね、生徒、保護者の皆様の多大なるご協力も得て、現在は順調に在校全員2354名と187名の教員によるオンライン授業を毎日実施しています。おかげさまで4月28日～30日に実施した「オンライン授業に関するアンケート」では95.6%のみなさまから「とても満足」、「まあまあ満足」との回答をいただきました。オンライン授業の実施が全国で初頭の取り組みであったため、様々なメディアで取り上げられ、全国に栄東の授業の様子が紹介されました。

「**日経新聞**」では5月11日付の電子版で次のような記事として取り上げられました。「私立栄東中学・高校も4月20日から、オンライン授業を開始。…生徒と双方向でやり取りでき、チャットで質問を受けることも可能。…授業は体育など実技も含め1日6時限で時間割通りに実施する。多くの教員はノートパソコンで自宅から授業動画を配信。課題の配布や提出もオンライン上で管理する。」

さらに、5月16日(土)「**朝日新聞**」の記事では次のように紹介されました。「4月28日、私立中高一貫校、栄東中学・高校(さいたま市)の生徒がいない教室で、社会科の坂本大志(まさゆき)教諭(42)がノートパソコンに向かって語りかけた。高3向けの日本史の授業だ。生徒から提出された江戸時代の交通発達に関する課題を、タブレット端末の画面上で添削し、解説する。…こまめに質問を投げかけ、チャットで回答してもらおう。坂本教諭は『授業で手を挙げるのをためらっていたような生徒も、チャットだと応じてくれるなど意外な発見もあった』と手応えを口にする。栄東には、埼玉県外から通う生徒も多い。休校中、どのように学習力を維持・向上させるか。外出自粛要請が続く中、生徒へのウイルス感染を防ぐためにも、4月20日から中学・高校ともに生徒の私有端末などを活用し、主要5科目のオンライン授業を始めた。平日は朝のホームルームから1コマ50分の授業を通常的时间割で実施。土曜日(第三土曜日を除く)も午前中の4時限まで行う。教職員の感染を防ぐため、約8割の教師は自宅から

授業を行う。今月 11 日からは書道などの実技科目も始める予定だ。自らも中 1 に英語を教える田中淳子校長は『最初は手探りだったが、生徒は全員授業に参加し、先生たちも工夫をしながら授業をしてくれている。協力してくださる保護者の皆様には感謝しかない』と話した。

このように双方向での対面授業というかたちでスタートした本校のオンライン授業に対して、次のようなご丁寧な感想をお寄せいただいた保護者様がいらっしゃいますのでご紹介させていただきます。

「しっかり授業を受けられることももちろんですが、毎日早起きをして、朝ご飯を食べ、身なりを整えるという規則正しい生活ができていることも親としてはありがたいことです。しっかり勉強ができる環境に感謝いたします」(高校 2 年保護者様)

「今年は新型コロナの感染拡大で説明会や入学式が中止となり、不安の中で新生活がスタートしました。4 月に入り、貴校からオンライン授業が始まると連絡をいただきましたが、体験したことがなく不安でした。しかし、担任の先生が丁寧にサポートしてくださり、今では毎日が充実して楽しく学校生活を送っています。本当にありがとうございます。授業はもちろんですが、勉強の質問にも丁寧にご返事をくださり、感謝感激しております。今は登校して先生や友達に会うのが楽しみで待ちきれないようです」(高 1 保護者様)

「先日息子との会話の中で『ship にオンライン授業のアンケート結果出たね、満足の子が殆どなんだね』と聞くと即座に『そりゃそうだよ！すぐにあれだけの授業を対応してくれた先生たちには感謝しかない。やっぱり皆には会いたいけど…』と申しておりました。先生方の努力は子供たちに確実に伝わっていると思います。状況を嘆くのではなく今できる精一杯を…と学校が常に伝えてきてくれたのだろうと感じ、親としては不安に感じることなく感謝の気持ちでいっぱい過ぎております」(高 3 保護者様)

保護者の皆様。私たちは事態の一刻も早い収束と、通常授業の再開を願っておりますが、このようななかにあっても、全面的に学校へのご協力をいただき、大方の皆様のご満足をいただける授業体制を築くことができたことに深く感謝せずにはられません。教員もパソコンの画面を通じてしか、生徒一人一人と接することができないことにいくぶんのもどかしさを感じながらも、学校で、あるいは在宅で授業が配信できることに対して日々、生徒のみなさん、保護者の皆様へ感謝を感じながら過ごしております。皆様には心より厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。